

令和2年度 秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	部長	秋葉区長 夏目 久義
組織の目的・方向性	秋葉区では、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かしたまちづくりを推進します。		

秋葉区組織目標

<p>秋葉区では、産学官・地域等と連携してまちの活性化と人材(人財)育成を進めるとともに、区民の地域への愛着や誇りを育み、地域資源を生かして交流人口や定住人口の拡大を図ります。</p> <p>この方針のもと、今年度は次の4つの目標に重点的に取り組みます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産学官及び地域等と連携し、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材(人財)育成等に向けた主体的な取り組みを進めるとともに、アキハスンプロジェクトの理念に基づき、秋葉区の特性或魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進の支援や、市民活動に取り組む新たな人材(人財)を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。 2 住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。安心安全なまちづくりのため、区民と協働して防犯対策に取り組みます。 3 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及し、地域住民や関係機関と連携・協力することで、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みの支援と活動を推進します。地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。 4 里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。また鉄道、花と緑、史跡など恵まれた地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
	<p>【重点目標1】 達成状況＝評価3（目標通り達成）</p> <p>・まちなか活性化実行委員会において、地域や商店街等と連携しながら大学の知的資産や学生の感性を生かし、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成など継続的に取り組みました。</p>				

- ・特設ホームページやSNS、PR動画を通して、区のイメージや情報を総合的に発信するとともに、移住モデル地区独自のPR動画作成など地域活動への支援を行いました。
- ・女子の視点からまちづくりを考えるプロジェクトについて、これまでの活動の検証と方向性の再確認を行など、より主体的な運営に向けた支援を行いました。

【重点目標2】 達成状況＝評価3（目標通り達成）

- ・地区懇談会の開催により各地域の課題解決に向けた具体的な検討や対応を行うとともに、日常的な地域づくりにおける各種相談等の支援を行うことで住民主体の地域づくりを支援しました。
- ・区民との協働による防犯対策の推進のため、区だよりによる防犯パトロール実施団体の募集を行いました。

【重点目標3】 達成状況＝評価3（目標通り達成）

- ・子育て支援やフレイル予防などの事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画変更をせざるを得ない状況でしたが、実施方法を検討し人数制限等感染防止の対策をとって実施しました。
- ・感染拡大防止のため認知症カフェの実施は制限されましたが、認知症講演会をWeb配信とし、より多くの区民が視聴できるよう周知したほか、関係機関と課題を共有する区高齢者ケア会議を開催し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを進めました。
- ・発達に支援が必要な子どもに関わる医療。保健・福祉・教育などの「各関係機関と保護者が必要な情報を綴っていく「つながる支援ファイル」を配付し、活用を進めました。

【重点目標4】 達成状況＝評価3（目標通り達成）

- ・里山魅力発信についてはAkihaマウンテンプレーパーク事業を実施しました。新型コロナ感染症への対策をしっかりと講じて実施し、参加者は若干、昨年度より少なくなりましたが、里山体験を通して子ども達への人格形成に繋がっています。
- ・新津丘陵に点在する里山VC、石油の世界館、花の湯館による事業連携と宣伝・誘客の取り組みを行いました。新型コロナ感染症の影響により集客が落ち込みました。その中で、石油の世界館は映像リニューアルにより来館者が昨年並みとなり、一定の集客効果がありました。
- ・Akiha レール浪漫事業では、新津駅東口「あ！キハ」観光案内所を4月から開設しました。(株)JR東日本企画やJR東日本新潟支社、新津商店街等と連携し「鉄ぶら」事業を実施し、一定の賑わいがありました。レンタサイクル事業も実施し新津駅に来られた方への情報提供等と合わせて好評でした。「鉄道の街にいつの」のPRとリピーターづくりに繋がりました。
- ・Akiha 花一番PR事業では花木見本市などが中止となりましたが、区内園芸施設と連携し、クリスマスローズ展の広報や宣伝に努めました。

【重点目標 1】

- ・産学官、地域等との連携をより深めながら、学生や商店街、地域住民との協働によるまちなかの活性化に向けた各種取組みを推進します。
- ・アキハスムプロジェクトの継続により、「住んでよかった・住んでいてよかったと思えるまちづくり」を目指し、秋葉区のブランド化や地域アイデンティティの醸成を図ることで、さらなる人財の発掘・育成や地域主体の移住・定住の促進など地域・住民主体のまちづくりを推進します。

【重点目標 2】

- ・コミュニティ協議会との連携、協働による地域課題の解決や地域づくりを進めることで、地域住民の主体的な地域活動を推進します。
- ・今後とも、区民との協働による安心安全なまちづくりを推進するため、引き続き区だより等で防犯パトロール実施団体の募集を行うとともに、機会をとらえ市民団体等に向け防犯パトロール実施団体の募集を働きかけていきます。

【重点目標 3】

- ・地域住民や関係機関と連携・協力しながら、高齢者、障がい者等にやさしいまちを目指し、各種取組みを推進します。
- ・フレイルチェックの拡大実施や子育てサポーターの訪問事業の開催などあらたな取組みを通じて、引き続き、健康づくりや子育て支援を進めます。

【重点目標 4】

- ・今後も里山の魅力発信は点在する各施設による広報、宣伝のほか連携事業による各種事業に取り組んでいきます。
- ・地域資源「鉄道」「園芸」「里山」を活かして関係組織と連携しつつ各種事業を実施し、全国からの集客を図ります。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0250-25-5451

年度	2020		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域総務課
組織の目的	区の魅力発信や課題解決につなげるため、産学官、地域等との連携によるまちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信等をより主体的に行います。「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組み新たな人財を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。地域コミュニティの主体的な取り組みを支援し、地域課題解決に対応した組織や活動の活性化を支援します。安心安全なまちづくりを推進するため、防犯対策に取り組みます。また区役所が率先して省エネルギーによる環境負荷の低減に取り組みます。		

作成日	令和2年4月1日
修正日	
評価日	令和3年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果				
1		産学官及び地域等と連携し、新潟薬科大学が持つ知的資産と学生の感性やパワーを積極的に活かし、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人財育成等に向けた主体的な取り組みを進めます。	・まちなか活性化実行委員会の開催 産学官連携による人財(学生)育成	全体会議の開催数(回)	3	3	3	3	3	3	・関係機関等との調整、事業の進行管理	・まちなか活性化実行委員会として、コロナ禍による制約はありましたが、臨時拡大事務局会議、連携協議会、全体会議を開催することで、各団体の情報共有を行うとともに、今後の対策を検討し次年度の計画を作成しました。 ・コミュニティフィールドワークについては、大学側の感染防止措置の關係から学生の活動が制約されたことで今年度は中止となりました。	一部未達成
1		「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組み新たな人財を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。	・秋葉区ブランドや魅力の発信 ・秋葉区移住体験ツアー ・移住モデル地区等への支援	県外からの移住世帯数	-	-	-	1	0	0	・地域主体による魅力発信や移住者受入体制整備を支援 ・HAPPYターンモデル指定小須戸地区(H29年11月) 金津里山地区(R1年11月)	・アキハスムのロゴを活用したサインタワーのリニューアルや缶バッジの配布を行いました。 ・移住体験ツアーは中止しましたが、アキハスムと各HAPPYターンモデル地区で移住PR動画を作成し、情報発信を行いました。 ・指定面地区ともに委員会運営を中心に支援を行い受入体制の構築を促しました。 ・Akibaきらきらプロジェクトでは、各チームによる活動の振り返り、及び今後の活動の方向性の検討を行い、全体カフェミーティングにより全体の意思統一を図りました。 ・教育懇談会は感染防止対策を兼ねリモート参加を併用したことで、参加者9人増の83人となりました。	達成
2		「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組み新たな人財を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。	・新たな人財の発掘育成 ・教育懇談会の開催	取組み実施の件数	-	5	5	5	5	5	・まちづくりに係る企画への支援等		
3		住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。	・地域課題の解決策や区政の取り組みをテーマに、区長との意見交換を中心とした地区懇談会の開催	地区懇談会開催回数(回)	11	11	11	11	11	11	・地域からの課題をもとに意見交換	・コロナ禍の状況でしたが、短時及び参加人数の調整、さらに一部では書面開催を取り入れることで、区内全11コミ協において地区懇談会を実施し、課題解決へ向けて地域と連携し、具体的な検討・対応を行いました。	達成
2		安心安全なまちづくりを推進するため、区民との協働により、防犯対策に取り組みます。	・青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行います。 ・区民と協働し、安心安全なまちづくりを推進するため、防犯パトロール実施団体の募集を定期的に行います。	「青バト」による防犯パトロールの実施回数 防犯パトロール実施団体の募集	-	-	-	青バト月4回 区だよりによる実施団体の募集 年2回	・青バトを計74回実施 ・区だよりによる実施団体の募集2回(7/19号、1/17号)	H30年中区内の刑法犯総数239件 犯罪率3.1件 (8区内で最低)	・「青バト」による防犯パトロールを計74回実施し、目標(年間48回)を達成しました。今後も小・中学生の下校時間帯等に、重点的に青バトを行っています。 ・防犯パトロール実施団体の募集について、区だよりによる実施団体の募集を2回行い、目標を達成しました。今後も機会を捉えコミ協等関係団体に向け実施団体の募集を働きかけていきます。	達成	
5		地球温暖化対策に区役所が率先して取り組み、省エネルギー化による温室効果ガス排出量の削減に努めます。	・官民協働により低炭素エネルギーの調達やエネルギーデータの活用について検討する。 ・照明器具のLEDへの改修や空調の温度管理により電気使用量の削減を図る。	庁舎における電気使用量(kwh)の過去3年間実績との比較	320,354	304,615	321,508	315,492	355,271	・平成26年3月から太陽光発電設備を設置し稼働したことで、平成30年度は電気使用量のうち年間約8.6%を太陽光発電で賄っている。	7月の長雨や1月の大雪の影響により、目標値比12.6%の増となりましたが、庁舎6階会議室及び外灯のLED化により継続的な電気使用量の節減に取り組みました。	未達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
産学官及び地域等との連携を深めながら、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人財育成等をより主体的に行います。「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組み新たな人財を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。地域コミュニティ協議会と連携・協力し、区や地域の課題等について意見交換し、具体的な方策・対応を共有・検討します。子どもたちを健やかに育てていくための環境づくりを話し合う教育懇談会を開催します。安心安全なまちづくりを推進するため、区民との協働により、青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行い、地域の犯罪の未然防止に努めます。官民協働により低炭素エネルギーの調達やエネルギーデータの活用し、地域におけるエネルギーの最適化について検討します。平成26年に設置した太陽光発電の活用、照明器具のLED化や庁舎内の節電により、低炭素社会実現に向けた取り組みを進めます。	産学官、地域等と連携、情報共有を図ることで、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人財育成に取り組みました。また、アキハスムプロジェクトの取り組みとして、区の魅力を積極的に発信しました。さらに、女子の視点からまちづくりを考えるプロジェクトの検証と方向性の確認を行うことで、今後の活動の目標を明確することができました。今後も様々な取り組みの検証を適宜行い、方向性を各方面と共有しながら、それぞれの主体的な活動を支援していきます。区民の声を区政に生かすため、区内11のコミュニティ協議会と地区懇談会を開催し、地域課題の解決に向けて意見交換を行い、具体的な対応を検討しました。今後も地域や団体と連携し住民主体の取り組みにより、区の魅力を高め、地域に愛着や誇りを持ち、誰もが自分らしくいきいきと暮らし、「住んでよかったと思えるまちづくり」を進めていきます。青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行い、地域の犯罪の未然防止に努めました。また、区民との協働による安心安全なまちづくりを推進するため、区だよりによる防犯パトロール実施団体の募集を行いました。庁舎管理における省エネルギー化については、天候不順や新型コロナウイルス対策で換気を徹底したこと等により電気使用量が増加しましたが、照明のLED化を行い電気使用量の増加を最小限に抑えることができました。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5711
------------	--------------

年度	令和2年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	区民一人ひとりが、健康で安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、地域包括ケアシステムの構築や秋葉区の特性を活かした福祉や健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組むことで、更なるサービスの充実に努め、「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本方針である「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指します。		

作成日	令和2年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果 (見込み)			補足・参考指標
1		地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。	認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 (キャラバンメイト連絡会の支援)	認知症カフェ開催回数(回)	-	-	9	10	4	・認知症講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWeb配信とし、より多くの区民が視聴できるよう周知した。 ・感染拡大防止のためカフェの実施は制限されたが、今年度よりキャラバンメイト連絡会が主体で、関係機関と連絡調整しながら実施した。	達成	
			「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みの支援と活動を推進します。	つながる支援ファイル利用者数(人)	-	-	87	100	141	・つながる支援ファイルとは、医療・保健・福祉・教育・労働など各機関の支援を1冊のファイルに記録し、経年的に管理し、保護者が所持するもの	・新規サービス利用の相談時等に配付し、ファイルの活用を促した。目標を上回る141人が利用している。 ・今後も配付を継続するとともに、関係機関等に活用方法を周知し利用を促す。	達成
			身近な子育て支援の充実 (子育てサロン・パパママ向けプチ講座・ベビマセミナーの開催など)	子育て講座等の開催回数(回)	-	-	122	100	126	目標の回数は、子育て支援センター「新津育ちの森」で実施する子育て講座(区づくり事業の委託分)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止もあったが、人数制限等を設けるなど感染防止対策を講じて実施した。中でも乳児を対象とした講座は好評だった。	達成
2			フレイル予防事業 (予防教室・講座、各地域での予防普及啓発・支援など)	フレイル予防教室・講座・地域イベントでフレイル予防の実施延参加人数(人)	-	-	1,660	1,700	801	・地域で活動するPPKサポーターのフォロー研修を実施したほか、FMラジオ等も活用し予防の啓発を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前半は啓発機会が減ったが、後半は再開した茶の間や民生委員地区定例会など住民が集まる様々な機会に啓発を行い、フレイル予防を進めた。	達成	
			窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指します。	研修会実施回数(回)	7	7	7	7	8	・各係(担当)1回以上の実施	・各係が1回または2回の課内研修会を実施し、目標を達成した。今後も、職員のスキルアップと窓口サービスの向上に向けて取り組み、市民の満足度のアップを図ります。	達成
3			各係の業務からテーマを設けて課内研修会を実施	改善実践報告の件数(件)	27	21	21	21	21	・各係(担当)3件以上の取組	・業務の効率化・市民目線での利便性の向上等市民の満足度のアップのため、業務改善に取り組んだ。	達成
4			各係で業務や窓口等における継続的な業務改善を実施									

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進し、区民や地域の団体等とネットワークづくりを行い、区民協働による「認知症高齢者と支える家族にやさしい秋葉区」を目指します。 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指し、地域住民や関係機関と連携・協力し、秋葉区の特性を活かした、高齢者・障がい者・子育て・健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組みます。 窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指し、職員のスキルアップを目指す研修会や継続的な業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	地域包括ケアシステムの構築に向け、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを進めるため、認知症カフェの開催を支援したほか、認知症講演会のWeb配信や、関係機関と課題を共有する区高齢者ケア会議を開催しました。今後も継続して関係機関との協働の場を設け、認知症に関する地域住民の意識啓発を図るなど、認知症高齢者等にやさしい地域づくりのための取り組みを進めていきます。 各種講座や事業の実施においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画の変更等せざるを得ない状況で、指標としての目標値をクリアできない項目もありましたが、実施方法の工夫や代替え手段を用いて取り組みを進めました。今後も感染防止対策を講じながら、関係機関と連携し、子育て支援や健康づくりなどの活動を展開していきます。子育て支援の充実については、令和4年度の子育て支援センター「新津育ちの森」の移転に合わせて体制の検討等を行います。 「人がつながり、ともに支え合う、やさしいまち」を目指し、高齢者、障がい者はじめ区民が健康で安心して暮らし続けることができるよう、取り組みを継続します。また、今年度、秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました(第3期計画期間:令和3年度～8年度)。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5331
------------	--------------

年度	2020		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	産業振興課
組織の目的	区の特色である「鉄道・花・里山・石油」のキーワードと関連する施設を活用し、交流人口の拡大を図ります。また、関係団体と連携して地域経済の活性化と賑わいのあるまちづくりを進めるとともに、地域の特性を踏まえた農業政策を推進することで、地域農業の持続的な発展を目指します。		

作成日	令和2年4月1日
修正日	
評価日	令和3年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標							目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果	補足・参考指標			
1		里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。	・里山未来創造事業	Akihaマウンテンプレーパークの参加者数(子供参加数)	1,843	1,802	1,907	プレーパークの実施	プレーパークの実施	Akihaマウンテンプレーパークを実施。	新しい生活様式に基づき、消毒、3密回避を徹底し実施しました。4月に1回実施後はコロナ対策で休止し、6月6日から再開しました。延べ26回開催し、子ども約1,098人(＠平均42人)が利用しました。 (参考: R1、40回1,907人@平均47人)	達成	
2	4	地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。	・アキハ里山「音楽+アウトドア」体験事業	アキハ里山「音楽+アウトドア」体験事業参加者数	—	—	—	体験事業の実施	未実施	地元企業、音楽関係者、県立植物園、新津観光協会と連携し事業実施。	6月開催予定を9月に変更して対応しましたが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しても大型イベントの実施については市民の理解が得られないこと、収束の見込みが立っていないことを勘案し、事業の中止を決定しました。	未達成	
			・石油の世界館管理運営	石油の世界館来館者数(人)	9,957	10,855	9,242	リニューアルの実施	映像・設備等のリニューアルを実施	映像・設備リニューアルを実施。	10月24日(土)にAAJ社長、市長など関係者を集めてリニューアル記念式典を実施しました。翌日より映像の一般公開を行いました。また、館内の展示物の一部補修も行いました。	達成	
			・Akihaレール浪漫<ren-ketsu> ・磐越西線SL定期運行推進協議会 ・阿賀野川ライン観光協会	磐越西線沿線自治体及びJRとの連携協力する事業数	—	—	4	連携事業の実施	代替事業を実施	SLばんえつ物語号車内イベントやいつ鉄道まつりなどの事業を実施。	新型コロナウイルス感染症対策で出発式、車内イベント等と鉄道まつりは中止となりました。代替事業としてJR新潟支社、JR東日本企画、地元商店街、新津観光協会と連携し「鉄ぶら」事業を実施しました。58店舗参加、抽選2,726回でした。	達成	
			・Akiha花一番PR事業 ・園芸推進費(既存事業)	秋葉区内花き関連施設連携事業数(県立植物園・花夢里・新津FL・うららこすど)	—	—	—	花き関連施設連携事業	花き関連施設連携事業を実施	県立植物園・花夢里・新津FL・うららこすどの各施設と連携した事業を実施。	クリスマスローズ展については12月にHPで、2月には区だよりで各施設の開催告知を実施しています。日本ボケ展は新型コロナウイルス感染症を考慮し、残念ながら中止としました。(HP掲載済み) 花きPR事業として地元の手品師を活用した動画の配信を行いました。	達成	
3		起業家の養成講座やシェアオフィス・コワーキングスペース(若者の居場所)の開設を通じて秋葉区の将来を担う社会起業家を育てます。	・社会起業家プラットフォーム運営 & 地域人材発掘・養成事業	社会起業家育成講座(参加人数)	—	—	31	90	18	商店街で開店する人や商店街に 関係する人を発掘。 (H31は1回あたり15人参加) 講座は6回開催を予定。	新型コロナウイルス感染症対策で開催回数を制限(2回)した結果、参加者数が目標を下回りました。	一部未達成	
4		「もち妻」を核に、農業・福祉・健康づくりの各分野で様々な取組を展開します。	・Akihaもち妻プロジェクト推進事業	もち妻販売促進事業	—	—	—	3	5	5	もち妻の販売促進事業を各組織と連携し実施。	フードメッセ、学校給食統一メニュー、レシピ作成など各種事業を生産者等と協働で実施しました。	達成
				区内産もち妻の取り扱い店舗数	—	8	18	15	26	26	もち妻を取り扱う健康レストラン等の店舗数	生産者等と連携し、飲食店に働きかけて	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>・「秋葉丘陵」として親しまれている、緑豊かな里山の魅力ある資源を活かし、「里山未来の種プロジェクト」などに基づいた取り組みを実施していきます。具体的には、秋葉公園マウンテン・プレーパークでの、子どもを対象とした環境教育や新規である「音楽+アウトドア」体験事業により、移住定住の促進と里山の新たな活用に取り組めます。</p> <p>・地域活性化を図るために、大きな柱となっている花き生産を支援し、また、鉄道のまちとして栄えた歴史を伝える新津鉄道資料館や車両製作所などの鉄道関連施設、全国一の石油採掘量を誇った当時の施設が残る石油文化遺産、ほぼ全ての品種が揃う日本最大のボケ公園を併設する小須戸花とみどりのシンボルゾーンを最大限に活用するほか、磐越西線沿線自治体との連携によるイベントの開催により、観光・交流人口の拡大を図ります。</p> <p>・さらに、新津駅前のまちなか再生の起爆剤として、将来を担う社会起業家を育てることで事業・起業に意欲的な市民が街中に集まる機会をつくり、さらに活動の場を提供します。</p> <p>・農業関連では、米主体の生産から新たな土地利用型作物への転換を進めることも見据え、健康食としての機能性に注目が集まる「もち妻」を核に、農業・福祉・食品産業振興・健康づくりの各分野と連携しながらプロジェクトを展開していきます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策として若の事業やスポーツイベントの中止が相次いだ中でAkihaマウンテンプレーパークは関係者と協議し、新しい生活様式を十分配慮した中で実施しました。大きな混乱もなく事業を行うことができたことで、次年度も今年度同様に開催を予定しています。</p> <p>「音楽+アウトドア」事業は開催時期を延期(6月→9月)して開催を模索しましたが、状況が好転する見込みが無いことからやむやみ中止の判断を行いました。次年度は予算の都合で事業の実施を見送ることとしました。</p> <p>石油の世界館リニューアルは関係者の協力を得て、9月末に映像、設備が完成し、小学校関係者の内覧会を経て10月24日にAAJ(株)代表取締役ほか、関係者をお招きしてリニューアル式典を開催しました。一般公開は式典翌日から行いました。区だより等を活用し市民、学校利用を促していきます。</p> <p>SLばんえつ物語号車内イベントやいつ鉄道まつりなどの事業については主催者の判断で残念ながら中止となりました。しかし、地元関係者でのばんえつ物語号運行初日の見送りや、第一小学校と連携して児童と一緒にランドからの応援事業などを実施しました。また、鉄道まつりの代替事業としてJR新潟支社、JR東日本企画、地元商店街、新津観光協会と連携し、商店街買い物促進事業「鉄ぶら」事業を10月1日から11月末まで行いました。レンタサイクルの利用も昨年度以上の利用(281件、昨年167件)があり、誘客の効果はあったと考えています。次年度開催に向けて関係者と協議していきます。</p> <p>秋葉区内花き関連施設連携事業はクリスマスローズ展を各施設で開催することに合わせて2月の区だよりで告知を行いました。また、日本ボケ展はコロナ禍にあるため残念ながら今年は中止となりました。また、秋葉区の花き・花木のPRのため、地元手品師に依頼し、秋葉区の花き・花木を宣伝する動画を製作しSNSで配信しました。各事業が縮小する中、効果的な宣伝・広報に努めていきます。</p>